

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

ボフータル行政郡ボフタリヨン地区セメノバード村第8学校新校舎建設計画供与式報告

平成28年4月13日、「ボフータル行政郡ボフタリヨン地区セメノバード村第8学校新校舎建設計画」の供与式が首都ドゥシャンベ市から南へ車で約1時間半の距離にあるボフータル行政郡で行われました。供与式には、副行政郡長、行政郡教育局長、学校関係者、保護者及び地域の人々を合わせて、約1,400名の人々が集まり、日本の支援に対して大きな感謝が示されました。

ボフータル行政郡ボフタリヨン地区は人口4万7千人を有し、タジキスタンの中でも最も人口の多い地区の一つです。そして、現在もその数は増え続けています。第8学校の4つの校舎のうち、本計画実施対象となった第2校舎は1934年に建設されました。しかし、経年劣化の為、本計画実施前は3教室のみが使用されていました。増加し続ける児童・生徒数に対する教室不足、そして経年劣化による安全性の懸念から、同校では長年新校舎建設が求められていました。

今般、本計画実施により8教室で構成される新校舎が建設したことで、第8学校の快適な学習環境が大幅に向上しました。

供与式では、タジク語、ロシア語、英語、そして日本語で、歓迎と日本の支援に対する感謝のスピーチが行われました。



新校舎の外観と教室の様子。新しくなった教室では、児童たちが一生懸命に勉強していました。

第8学校に通う1,360名の児童・生徒は新校舎に大喜びです。タジキスタンの伝統的な衣装を着た生徒たちが、タジキスタンの歌と踊りを披露してくれました。

